

議案第十二號

消防組器具変更件

当組合熊川村消防組第一部器具之通変更スルモノトス

昭和五年一月十日提出

西多摩郡福生村熊川村組合村長 笹本半左衛門

記

唧筒	水筒車	梯子	屋根鑢	高張	弓張長	部旗
三一	三一	一	三二	三一	三二	三一
指揮旗	喇叭	被服籠	平丸	平桶		
六	一	一	六	二		
備考	(一)	内、数字、の器具数				

議案第一二番 (一) 區長代理選任件

(二) 六	(一) 一	(一) 一	(二) 六	(三) 二			
村組合	議決	議決	議決	議決	議決	議決	議決
(一) 一	(一) 一	(一) 一	(二) 二	(三) 一	(三) 二	(三) 一	(三) 一
即	議決	議決	議決	議決	議決	議決	議決

議決

區長代理選任件 議決

區長代理選任件 議決

區長代理選任件 議決

區長代理選任件 議決

議案第一二番

議案第一二番

第一區長代理選任件

當組合第一區長代理缺員一件其補缺トシテ左

記、者ヲ推薦ス

昭和五年一月十日提出

西多摩郡福生村組合村長世本半左衛門

古記

石川、左士口

昭和五年一月十日提出

福生村組合役場

福生村組合役場長 笹本半九郎

昭和五年一月十日提出

福生村組合役場

福生村組合役場長 笹本半九郎

福生村組合役場

福生村組合役場

議案第一四號

有給助役退職承認件

福生村熊川村組合

助役 青木 作太郎

昭和四年十二月二十八日 職申出二付之ヲ承認

認 スルモノトス

昭和五年一月十日提出

西多摩郡福生村熊川村組合役場長 笹本半九郎

昭和四年度東多摩郡福生村聯合会

昭和四年一月十日

昭和四年

昭和四年一月十日

昭和四年一月十日

昭和四年一月十日

昭和四年一月十日

昭和四年一月十日

昭和四年度東多摩郡福生村聯合会

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年

昭和四年一月十日

木

五、雲田七五〇

五

三
四
四

$\frac{3}{3}$
 4
 4

4

二

六四

五

1

$\frac{5}{11}$

11

$\frac{1}{2}$

五

五

歳出合

経常部計

計

二四四三
二五五三

二、秋部費

八七二三

一、秋部費
八七二三

五、秋部費

三五三三

一、秋部費
三五三三

六、秋部費
七八三三

二、秋部費

二五三三

三、秋部費

五三三三

四、秋部費

二五三三

五、秋部費

一八三三

六、秋部費

四三三三

七、秋部費

一〇三三

八、秋部費

八七三三

九、秋部費

一八三三

一〇、秋部費

八七三三

一一、秋部費

一八三三

一二、秋部費

一八三三

午地第一〇二號

昭和五年一月廿二日

東京府内務部長

東京府書記官

西多摩郡福生村熊川村組合村長殿

追加豫算ニ關スル件

本月十日福發第三九號ヲ以テ御協議相成候標記ノ件承認相成候條御了知相成度



東京府

卷之四

本日十日 陽爻三 次艮 以之 臨而 類時 如刻 點指入 骨本 臨時 如刻 刻睡下 眠

臥世意章二論不八骨

西冬望海郡主林頭風林膝合林昇強

東京内務省

五月廿二日

平版第一〇二號

福發第

九
号
一

昭和五年一月十七日

東京府西多摩郡福生村熊川村組合村長邑本半左衛門

東京府内務部長殿

本日吉附福苑第三九號ヲ以テ御表認方上申
致置候所費補助道二架ノ宮本橋架替工事
費件本日電話ニ御申越ニ依リ調査候処左記
一通ニ候間至急御表認方御高配相煩ニ度
及田谷候也

歲入記

東京府西多摩郡福生村熊川町組合役場

繰越金	二九六・八二	昭和三十四年度繰越金
寄附金	六八四・〇	昭和三十四年十月七日受領所
寄附金	四六九・〇	昭和三十四年八月一日受領所
府補助金	二五九・〇	昭和三十四年五月二十四日受領所
計	一七・九・二	
歳出		
橋台工事費	六八四・〇	橋台鉄筋コンクリート造材料其他一式
橋体工事費	一・二五・二	工字形鋼桁及床鉄筋コンクリート諸材料其他一式
計	一七・九・二	

福生第二九號

昭和五一年一月

日發案
日決裁

淨書

校合

月
日發送
往復主任

村長

助役

主任

關係書記

内印出

村長

地方財政に緊需に伴、協定件
本年八月十二日付已地多分二三五坪は保
有に追加請求あり、必要、自前集
込及び各名に御成り也

前年決算額

昭和五一年一月

校合

款

三〇九・四・六三

二九六・八二

二七九・四・八一

標越金

九十九

寄附金

留之

寄來金

四十一

解補

五九二。

四

七十九

歲出

おはようございます

二二三

行世、且、近、の、を、な、し、て、す、る、を、

少知能為事能

卷之七

林氏

林氏

咀

主 任

關羽書



誦
茶
心
大
經

韻味
 辛

月 月
7

日夷錄
日錄案

解書

對合

并鄭主升
目

高田今福生村にあり、橋、鐵道の中央道、東京市と水
 道、^{多摩川}橋、河川、明治三十五年、新橋工事施行後
 年月、久しき橋、校欄、千一、橋、朽と、交通、上、工、除
 け、せ、え、う、け、之、の、工事、施行、方、を、補、助、中、法、に、要、す、
 本年一月三日、補助、す、所、を、今、年、四月、三日、迄、
 変更、可、し、或、え、モ、ミ、テ、昭和三年、分、を、補、助、と、え、モ、イ、
 法、橋、梁、の、延長、ハ、先、前、八、橋、幅、十五、尺、此、年、千、十四、年、二、合
 計、の、二、千、リ、ー、ト、造、ミ、テ、總、工、費、金、七、百、九、十、圓、を、得、
 而、シ、是、カ、財、源、ハ、右、に、充、つ、ト、ス

緇越人

前年之決系粥款

以年久近加款

24.

靺

九九四六三

二九六八二

二七九四四八一

東京府西多摩郡福生村熊川村組合及傷